

## 第26回 Working Party 5A会合 報告書（案）

### 1 WP 5A

WP 5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務（FWA：Fixed Wireless Access）、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

#### 1.1 会合の概要

WP 5A第26回会合は、2021年11月15日（月）から26日（金）までの10日間（土曜・日曜は会議なし）、Web会議にて開催された。51の加盟国、15のROA、22のSIO等から352名が参加した。

議長はJosé Costa（カナダ）が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに5つのWG（Working Group）と1つのAd Hoc WGを設置し、検討が行われた。

123件の入力文書、前回会合からの41件の持越し文書及び会合中に到達した8件の文書を扱い、会合での検討の結果、46件のTEMP文書を出力した。

表1 WP 5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP 5A		José Costa（カナダ）
WG 1	Amateur services	Dale Hughes（オーストラリア）
WG 2	Systems and standards	Lang Baozhen（中国）
SWG 5A-2-1	Railways	Yan YANG（中国）
WG 3	PPDR	Amy Sanders（米国）
WG 4	Interference and sharing	Michael Kraemer（ドイツ）
SWG5A-4-1	WRC-23 agenda item 1.3	Cesar GUTIERREZ（Huawei）
DG5A-4-2	WRC-23 agenda item 1.5	Michael Kraemer（ドイツ）
WG 5	New technologies	吉野 仁（日本）
SWG 5A-5-1	ITS	小山 敏（日本）
Ad Hoc WG 5A/5C	WRC-23 agenda item 9.1 c)	Christine Di Lapi（米国）

## 2 主要結果

### 2.1 WG 1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 b) 「無線航行衛星業務 (宇宙から地球) の保護を確実にするための 1240-1300 MHz 帯のアマチュア業務及びアマチュア衛星業務の見直し」について次の作業を行った。
  - ・ WRC-23 議題 9.1 b) の CPM テキスト案及び作業計画の更新
  - ・ ITU-R 新報告草案 M. [AMATEUR. CHARACTERISTICS] に向けた作成作業の継続
  - ・ ITU-R 新報告草案 M. [AS Guidance] に向けた作業文書の作成、次回会合への持ち越し
  - ・ WRC-23 議題 9.1 b) に関する WP 5A での検討の進捗状況を報告するリエゾン文書の作成、WP 5A の承認を得て WP 4C への送付
- (2) ITU-R 勧告 M. 1732 の改訂作業を継続した。

### 2.2 WG 2 (システムと標準)

- (1) RSTT (列車と路線間の鉄道無線通信システム) について、ITU-R 報告 M. 2442-0 「RSTT の現在及び将来の使用法」の改訂草案に向けた作業文書の作成、及び ITU-R 新報告草案 M. [RSTT\_FRQ] 「RSTT の周波数調和」に向けた作業文書の作成を継続した。
- (2) RLAN (無線 LAN) 及び BWA 標準について、ITU-R 勧告 M. 1450 「ブロードバンド無線 LAN の特性」の改訂草案に向けた作業文書の作成、及び ITU-R 勧告 M. 1801 「6 GHz 以下で運用する移動業務での移動・ノマディックアプリケーションを含む BWA システムの無線インタフェース標準」の改訂草案に向けた作業文書の作成を継続した。
- (3) UCS (公共通信システム) について、ITU-R 新報告草案 M. [UCS] 「公共通信システム」に向けた作業文書の作成を継続した。
- (4) 航空機との公衆移動通信用のシステムについて、新たな寄与文書がなかったため、ITU-R 報告 M. 2282-0 「航空機との公衆移動通信のシステム」の改訂草案に向けた作業文書を持ち越すこととした。
- (5) 陸上移動システムの保護について、ITU-R 勧告 M. 2134 「共用及び両立性検討で用いる 27.5-29.5 GHz 範囲における移動業務のシステムのための受信機特性及び保護基準」の改訂の提案に関し、寄与文書が入力されず、作業文書が持ち越された。

### 2.3 WG 3 (PPDR)

- (1) コンペンディウム (抄録) の削除について、複数セクタの成果物であるためセクタ間調整タスクフォース (ISC-TF) に方向性について助言・判断すべきという議論結果に基づき、各セクタの意見を総括した内容を作成するとともに、リエゾンを作成し送付した。
- (2) ITU-R 報告 M. 2377-1 について、入力文書 5A/448 (IAFI) と、持ち越し文書により、エディトリアルな修正を行うことで合意し、新たな入力文書を待つとともに、作業文書 TEMP/151 R1 を作成し、WG 3 議長報告に添付し、次回会合に持ち越した。

- (3) 入力文書 5A/447 (IAFI) 記載のハンドブック (手引) の作成について議論し、決議第 55-3 に記載の陸上移動通信における緊急通信に関する新たな手引の作成を行う事で合意した。次回会合以降に、具体的な入力文書を待って、具体議論を開始する。
- (4) 入力文書 5A/447 (IAFI) 記載にて提案された決議第 55-3 の改訂について、該当決議が WP 5A の WG 3 に割り当てられていることを確認し、内容の改訂を行うことが有用であると判断した。次回以降の入力文書を待ち、基となる作業文書を作成し、WG 3 議長報告に添付し、次回会合に持ち越した。

#### **2.4 WG 4 (干渉と共用)**

- (1) ITU-R 勧告 M. 1824 の改訂案及び ITU-R 新報告案 M. [100-GHz. RSTT. EESS. COEXIST] が完了し、採択及び承認の検討のため SG 5 に提出された。
- (2) WRC-23 議題 1.3 について、準備作業を継続した。WRC-23 及び他の課題に関連する共用検討に関し、技術特性及び他の関連情報を、リエゾンで様々な WP に提供した。
- (3) 252-296 GHz 範囲及び決議第 731 の invites ITU-R 2 について、関連する作業を継続した。

#### **2.5 WG 5 (新技術)**

- (1) ITU-R 新報告草案 M. [CAV] に向けた作業文書の作成を継続した。
- (2) ITU-R 勧告 M. 2121 及び報告 M. 2444 の改訂草案に向けての作業文書の作成を継続した。
- (3) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務アプリケーションの技術的及び運用特性に関する ITU-R 報告 M. 2417 の改訂に向けた作業文書の作成を継続した。

#### **2.6 Ad Hoc WG 5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c)**

- (1) 決議第 175 (WRC-19) の「IMT システム」と「固定無線ブロードバンド (FWB)」の用語について、議論を継続した。同決議の文脈において「IMT システム」の共通理解に関し進捗があったが、FWB の用語の範囲に関し違いが残った。
- (2) 他の WP へのリエゾンについて、検討は行われなかった。決議第 175 の resolves について、次回会合で対処するよう、また既存の規則枠組内で FWB のために使用される IMT 標準及び技術の要素を提案するよう、入力寄与文書が促された。前回 WP 5A 及び 5C 会合に入力された文書と、本会合に入力された 8 件の寄与文書は全て次回会合に持ち越された。

### 3 プレナリ会合における主要議論

#### 3.1 オープニング・プレナリ会合

##### 【入力文書】

Report of the twenty-fifth meeting of WP 5A	5A/359
Objectives for the twenty-sixth meeting of Working Party 5A	Section 4 of 5A/359
Structure of WP 5A and list of contacts	Sections 2.2 and 4 in Annex 1 to 5A/359
Revision of WP 5A texts	Section 1 of Annex 1 to 5A/359
Use of the draft Conference Proposal Interface (CPI) for WRC-23	5A/399
Reports from the Liaison Rapporteurs	5A/482 (Disaster Relief L.R.), 484 (L.R. #2)

##### 【出力文書】

—	—
---	---

##### 【出席者】

José COSTA 議長 (カナダ)

##### 【審議概要】

- ・ オープニング・プレナリの議事 (5A/ADM/43 Rev.1) について、採択された。
- ・ 前回 WP 5A 第 25 回会合の議長報告 (5A/491) について、採択された。
- ・ 今会合における WP 5A の構成について、5A/359 の第 2.2 節のとおり採択された。(その後、5A/491 の Annex 1 となった。)
- ・ WRC-23 議題 9.1 c) に関する作業について、WP 5C 議長との協議により、Christine Di Lapi (米国) が議長を務め、Ad Hoc WG 5A/5C に割り振られた。また、想定される出力が議長報告に添付されるため、WP 5A と 5C の合同プレナリは必要とされなかった。
- ・ 議長から、WP 5A に関係する ITU 会合の結果について、報告がないことが伝えられた。
- ・ 議長から、文書 5A/359 の Annex 1 の第 1 節に掲載されている文書、すなわち「陸上移動業務に関連する ITU-R 文書の使用のガイド」及び「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関連する ITU-R 文書の使用のガイド」に関し、注意喚起が行われ、各 WG に見直すよう求められた。
- ・ WP 5A 会合の作業計画について、文書 5A/ADM/41 Rev.1 のとおり採択された。
- ・ 当初のスケジュールは、文書 5A/ADM/42 のとおり採択された。また、会合の進捗に応じて、スケジュールが調整された。
- ・ SG 5 カウンセラーから、WP 5A/5C 会合中のオフラインでの電子メールでの議論の作業方法の案について、紹介された。オフラインでの電子メールでの

活動の詳細については、WP 5A のシェアポイントで参照される。

- ・ CPM テキスト案の準備のための追加情報 (5A/399) が BR から提供されており、特に Conference Proposal Interface (5A/399 Annex 1 に説明) が有用であることが連絡された。
- ・ WP によるリエゾン文書の承認に関し、RAG がすでにガイダンスを提供しているため、文書 5A/241 はノートされた。
- ・ 議長から、文書 5A/359 の Annex 1 の第 4 節にある連絡先一覧を見直し、変更が必要な場合には知らせるよう、依頼があった。本一覧表は、外部機関へのリエゾンのために使用されるもので、電子メールの配付一覧は、そこから自動的に生成されることが述べられた。また、新しい用語の定義に関する WP 5A の責務 (5A/359、Annex 1 の第 2.1 節) について、参考文書の追加を提案していることが議長から連絡された。CCV とテラヘルツ通信の定義について検討すべきという ATDI からの指摘に対し、必要であれば CCV に連絡しガイダンスを求めることができる旨が議長から説明された。
- ・ 議長から、ITU-R 勧告の様式及び ITU の英語の様式の基準 (スタイルガイド) を含む、WP 5A の文書の準備のガイドラインが、Annex 1 の第 2.3 節にあるとの指摘があった。
- ・ 2 つのリエゾン・ラポータからの報告が紹介された。災害救援に関しては、文書 5A/482 でサンダース氏から、第二地域の特定の国に関しては、文書 5A/484 でシバリング氏から、それぞれ行われた。
- ・ 議長から、貴重な情報に対してリエゾン・ラポータへの謝辞があり、時間の不足のため、質問がある場合には、直接リエゾン・ラポータに電子メールを送付するよう、求めがあった。

### 3.2 中間プレナリ会合

#### 【入力文書】

WG 1 Amateur services	—
WG 2 Systems and standards	5A/485 (WP 6A)
WG 3 PPDR	5A/486 (WP 5C)
WG 4 Interference & sharing	5A/487 (WP 5C)
WG 5 New technologies	—
Ad Hoc WG 5A/5C	—

#### 【出力文書】

WG 1 Amateur services	5A/TEMP/161
WG 2 Systems and standards	5A/TEMP/160, 166, 167, 170, 158 R1, 159 R1
WG 3 PPDR	5A/TEMP/169, 151 R1, 165, 150 R1, 152 R1
WG 4 Interference & sharing	5A/TEMP/153, 157, 155 R1, 156 R1
WG 5 New technologies	5A/TEMP/164, 162 R1, 163 R1
Ad Hoc WG 5A/5C	—

#### 【出席者】

議長： José COSTA (カナダ)

【審議概要】

• 各WG等からの出力文書について

(1) WG 1. amateur services

- ・承認のための出力文書はなかった。

(2) WG 2. system and standards

【TEMP 5A/159 R1】

- ・WG 2 議長から、地域機関へのリエゾンであり、RSTT に関する新研究課題案についての情報と RSTT の将来の進展に関連する研究を提供すること、ITU-R 新勧告草案[RSTT. FRQ]の作業文書の作成に関する情報も提供すること、地域機関に RSTT による周波数の使用の調和に関する更新情報を提供するように求めていることの説明があった。
- ・イランから、リエゾンを送付することに反対である。リエゾンの送付は不要である。議長報告に入れるように。全ての地域機関からの寄与文書は歓迎される、地域機関は全て ITU のメンバーであり、政府によって代表されているかセクタメンバーでありリエゾンの送付は必要なく反対である、との意見があった。
- ・イランの意見に対して、ドイツ、フランスから反論があったが、議長により、このリエゾンを送付せず、承認しないこととし、議長報告に添付し、参加者が関係する主管庁やセクタメンバーに知らせるように求められることとなった。

(3) WG 3. PPDR

【TEMP 5A/152 R1】

- ・WG 3 議長から、コンペンディウム（抄録）の削除をセクタ間調整タスクフォース（ISC-TF）にリエゾンするものである、との説明があった。
- ・ATID から、ITU-D に情報としてコピーして送付するよう要請が行われたが、WG 3 議長及びイランから扶養である旨の反論があり、原案のとおり承認された。

【TEMP 5A/150 R1】

- ・抄録の削除を関係グループにリエゾンするものであり、議長から ATDI の指摘は対処されていて、誰でもどのような措置がとられるか知らされるとの発言があり、特に質疑なく承認された。

(4) WG 4. Interference & sharing

【TEMP 5A/155 R1】

- ・ITU-R 勧告 M. 1824-1「共用検討で使用する移動業務でのテレビ中継放送、ENG 及び EFP のシステム特性」改訂案であり、暫定改訂草案から改訂案へと格上げすることが提案された。ATDI、イラン、米国、ドイツ、日本から、意見があり、修正の上、SG 5 に提出することが承認された。

【TEMP 5A/156 R1】

- ・ITU-R 新報告案 M. [100-GHZ. RSTT. EESS. COEXIST]「92-94 GHz、94.1-100 GHz 及び 102-109.5 GHz 帯で運用する RSTT と地球探査衛星業務（EESS）（能動）及び EESS（受動）との間の共存」であり、暫定新報告草案から新報告案へと格上げすることが提案された。米国、ESA、ドイツ、中国、ATDI、イランから

編集上の指摘があり、修正の上、SG 5に提出することが承認された。

- (5) WG 5. New technologies
  - ・承認のための出力文書はなかった。
- (6) Ad Hoc WG 5A/5C
  - ・承認のための出力文書はなかった。
- (7) 議長報告（連絡先一覧を含む）及び研究課題の Annex 1 の更新（WP 5A シェアフォルダ参照。）
  - ・議長から、説明が行われた。
- (8) リエゾン・ラポータからの報告（文書 5A/488（L. R. #1））
  - ・第一地域の特定の国に関して、文書 5A/488 でオーウェン氏から、説明が行われた。
- (9) 将来の会合のセッション（5A/ADM/42）
  - ・議長から、説明が行われた。
- (10) 休会
  - ・議長から、金曜日に最終プレナリがあること、二回目のプレナリを終了する、感謝するとの発言があった。

### 3.3 クロージング・プレナリ会合

#### 【入力文書】

WG 1 Amateur services	—
WG 2 Systems and standards	—
WG 3 PPDR	—
WG 4 Interference & sharing	—
WG 5 New technologies	—
Ad Hoc WG 5A/5C	—
Reports from the Liaison Rapporteurs	5A/489 (L. R. #3)

#### 【出力文書】

WG 1 Amateur services	5A/TEMP/192, 175, 176, 177, 185, 174
WG 2 Systems and standards	5A/TEMP/193, 166 R1 (Att.), 158 R1, 160 R1, 167 R1, 170 R1, 186 R1, 187 R1
WG 3 PPDR	—
WG 4 Interference & sharing	5A/TEMP/181, 195, 183 R1 (Att.), 180 R1, 182 R1, 184 R1, 173 R1, 178 R1, 179 R1
WG 5 New technologies	5A/TEMP/194, 172 R1 (Att.), 164, 168 R1, 171 R1
Ad Hoc WG 5A/5C	5A/TEMP/190, 191
WP 5A Management	5A/TEMP/189

【出席者】

議長： José COSTA（カナダ）

【審議概要】

- CPMテキスト案の遅滞ない完成に関するガイダンス
  - ・ WRC-23 議題 1.3 について、イランから議題 1.3 に IMT 特定は含まれないという意見があり、それに対して UAE が反論を行い、さらにドイツ、ロシア、サモアからイランを支持する内容の発言があった。
  
- 各WG等からの出力文書について
  - (1) WG 1. amateur services
    - 【TEMP/174】
      - ・ WRC-23 議題 9.1 b)に関する検討の情報に関する WP 4C へのリエゾン案であり、ATDI、イラン、ドイツ、フランス、米国、イランから発言があり、一項目目の WP 4C に係る記述や、末尾のステータス欄の”action as appropriate”を”if any”に変更するなど、修正の上、承認された。
  
  - (2) WG 2. system and standards
    - 【TEMP/187 R1】
      - ・ 公共通信システムに関する ITU-R 新報告草案 M. [UCS]に向けた作業文書に関する ITU-R WP 5C、5D 及び ITU-T SG 15 新研究課題へのリエゾン案であり、フランスから、WP 5C は期限までに返答できないことから、この場合、期限を削除することを提案する、次回 WP 5A は 5 月 23 日に計画していると単に書くのがよい、との意見があり、期限の欄を修正の上、承認された。
  
  - (3) WG 3. PPDR
    - ・ 承認のための出力文書はなかった。（中間プレナリにて完了）
  
  - (4) WG 5. New technologies
    - 【5A/TEMP/164】
      - ・ 議長報告への添付が了知された。
  
    - 【5A/TEMP/171 R1】
      - ・ 議長報告への添付が了知された。
  
    - 【5A/TEMP/172 R1】
      - ・ 議長報告への添付が了知された。
  
  - (5) Ad Hoc WG 5A/5C
    - ・ 承認のための出力文書はなかった。
  
  - (6) WG 4. Interference & sharing
    - 【TEMP/173 R1】
      - ・ WRC-23 議題 1.15 「12.75–13.25 GHz 帯の ESV の運用と 12.95–13.25 GHz 帯で運用する移動業務との共用及び両立性」に関する WP 4A へのリエゾン案であり、特段の異議なく、承認された。



【TEMP/178 R1】

- ・ RR 第 5.458 条の下での 6425-7250 MHz 帯における EESS（受動）の運用のための影響の検討で使用される情報に関する WP 7C へのリエゾン案であり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/179 R1】

- ・ RR 第 21.16.6 条の更新に関連する検討のためのパラメータの WP 4A へのリエゾン案であり、ATDI から、ソース欄に文書番号 5A/480 を記載することや、次回会合の日程を記載することの提案があった、イランから、ステータスが”For action”であることに意見があった、WG 4 議長から、一行目の WP 4A にリエゾンに感謝するのあとに、括弧で文書番号 5A/480 を入れることの提案があった、修正の上、承認された。
- ・ WP 5Aの運営について（5A/TEMP/189）
  - ・ 議長から、意見があれば電子メールを送付するようとの説明があった。
- ・ 議長報告のAnnex一覧について（5A/TEMP/188）
  - ・ 議長から、5A/491 には本会議の記録である、との説明があった。
- ・ リエゾン・ラポータの報告について（文書5A/489（L.R. #3））
  - ・ 第三地域の特定の国に関して、吉野氏による文書 5A/489 は、紹介の時間がないため、ノートされた。
- ・ WRC-23準備に関する第1回地域間ワークショップ（2021年12月13～15日）について
  - SG 5： 2021年12月16日（木）
  - WP 5A： 2022年5月23日（月）～6月3日（金）
  - WP 5A： 2022年11月14日（月）～25日（金）
  - SG 5： 2022年11月28日（月）～29日（火）
  - ・ 議長から、最後に議事 8 と 9 は将来の会合であるとの説明があった。
- ・ WP 5A及びSG 5の将来の会合のスケジュールについて
  - ・ 同上。
- ・ その他の事項について
  - ・ 議長から、その他の事項に関して取り組む時間がないとの説明があった。
- ・ 閉会
  - ・ 議長から、閉会が宣言された。

## 4 各WG等における審議内容

### 4.1 WG 1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

#### 【入力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) CPM	359 Annex 6 (WP 5A), 460 (フランス)
WRC-23 AI 9.1 b) 検討	359 Annex 10 (WP 5A), 387 (WP 3K 及び 3M), 427 (カナダ), 432 (WP 4C), 461 (フランス), 462 (フランス), 470 (ドイツ)
WRC-23 AI 9.1 b) 作業計画	359 Annex 7 (WP 5A)
ITU-R 勧告 M. 1732 の改訂 その他	359 Annex 11 (WP 5A), 434 (ドイツ) 407 (ATDI), 461 (フランス), 483 (WP 1A)

#### 【出力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) CPM	5A/TEMP/161
WRC-23 AI 9.1 b) 検討	5A/TEMP/176, 175
WRC-23 AI 9.1 b) 作業計画	5A/TEMP/177
ITU-R 勧告 M. 1732 の改訂 その他	5A/TEMP/185 5A/TEMP/174, 192

#### 【出席者】

議長：Mr. Dale Hughes (オーストラリア)

#### 【審議概要】

- ・ WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する文書 7 件を審議し、WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する持ち越し文書 4 件とリエゾン文書 1 件を出力した。
- ・ 勧告 M. 1732 の改訂に関する入力文書 1 件を審議し、暫定改訂案を次回会合に持ち越した。

#### 4.1.1 WRC-23 議題 9.1 トピック b) CPM

#### 【入力文書】

359 Annex 6 (WP 5A), 460 (フランス)

#### 【出力文書】

5A/TEMP/161

#### 【審議概要】

- ・ 5A/460 (フランス) を基に議論し、ITU-R 勧告の参照は [AMATEUR-RNSS]、[AMATEUR CHARACTERISTICS] を除き削除、テキストの説明的な部分や冗長な部分を削除して簡略な記述とした。Conclusion の部分については議論が収束せず、全体を鍵括弧付きとした。今次会合での審議結果を WP 5A 議長報告に

添付して次回会合に持ち越した。(TEMP/161)

#### 4.1.2 WRC-23 議題 9.1 トピック b)の検討

##### 【入力文書】

359 Annex 10 (WP 5A), 387 (WP 3K 及び 3M), 427 (カナダ), 432 (WP 4C), 461 (フランス), 462 (フランス), 470 (ドイツ)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/176, 175

##### 【審議概要】

- ・ ITU-R 新報告草案 M. [AMATEUR. CHARACTERISTICS]について、前回会合からの持ち越し文書 5A/427 (カナダ) 及び 5A/462 (フランス) を、オフライン作業グループを設置して検討した(コンビーナは、Lewis 氏 (IARU) と Pometcu 氏 (フランス))。WP 5A と WP 4C の報告の統合を提案するフランスと、WP 5A の報告に WP 4C 報告の要素を取り込むべきとするドイツ、カナダ、IARU 等との間で議論が交わされたが、議長は WP 5A がこの議題の責任グループであるとして、WP 5A の報告として集約した。ドイツは、6 章から 10 章は衛星系に関する内容であるため、WP 5A で承認できる内容ではないとして留保した (TEMP/176)。
- ・ 5A/432 (WP 4C) は WP 4C での検討状況報告であり、ノートされ、その一部は上記新報告草案に取り込まれた。
- ・ 5A/470 (ドイツ) については、ドイツが上記新報告草案とは分離して取り扱うことを求め、ドイツの提案内容を作業文書 ITU-R 新勧告草案 M. [AS Guidance]として、そのまま次回会合に持ち越した (TEMP/175)。
- ・ 5A/387 (WP 3K 及び 3M) は、干渉検討に用いる伝搬モデルについてのリエゾンであり、ノートした。

#### 4.1.3 WRC-23 議題 9.1 トピック b)の作業計画

##### 【入力文書】

359 Annex 7 (WP 5A)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/177

##### 【審議概要】

- ・ CPM テキストの審議の過程で併せて審議され、改訂された作業計画を WP 5A 議長報告に添付した (TEMP/177)。

#### 4.1.4 ITU-R 勧告 M. 1732 の改訂

##### 【入力文書】

359 Annex 11 (WP 5A), 434 (ドイツ)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/185

**【審議概要】**

- ・ 5A/434（ドイツ）で提案されたアマチュア及びアマチュア衛星業務の保護基準について considering f) と recommends 3 の追加について審議し、大勢は合意したが recommends 3 は米国が留保したため鍵括弧付きとして、次回会合に持ち越した（TEMP/185）。
- ・ 議長は、次回 WP 5A 会合に向けた積極的な寄与文書提出を求めた。

**4.1.5 その他**

**【入力文書】**

407（ATDI）、461（フランス）、483（WP 1A）

**【出力文書】**

5A/TEMP/174、192

**【審議概要】**

- ・ 5A/407（ATDI）はアマチュア局近傍での電磁界測定報告であり、アマチュア及びアマチュア衛星ハンドブックの改訂の際に Annex に加えることを検討するとして、ノートした。
- ・ 5A/483（WP 1A）はモバイル機器用 WPT の検討状況報告であり、ノートした。
- ・ WG 5A-1 議長が 5A/461（フランス）の要素を取り込んで作成した WP 4C へのリエゾン案を審議し、一部修正の上、WP 5A に上程した（TEMP/174）。
- ・ TEMP/192 は、WP 5A 議長報告に取り込まれる WG 5A-1 議長報告である。

## 4.2 WG 2 (システムと標準)

### 【入力文書】

Railways (incl. Res. 240 (WRC-19))	Rep. M.2442: 359 Annex 14 (WP 5A), 466 (フランス) Rec. RSTT Frequencies: 359 Annex 15 (WP 5A), 450 (日本), 465 (フランス)
Broadband Wireless Access	Rec. M.2134: 221 Annex 11 (WP 5A) Rec. M.1801: 359 Annex 13 (WP 5A), 398 (CCSA), 410 (TIA), 420 (3GPP TSG RAN), 425 (カナダ), 436 (XGP Forum), 439 (IEEE)
Land mobile systems	Utilities: 359 Annex 16 (WP 5A), 370 (WP 1A), 442 (UTCAL) Testbeds: 392 (ITU-T SG 11) PSME: 430 (米国), 485 (WP 6A) Reduction of energy consumption: 369 (ITU-T SG 5)
Air to Ground	Update of Rep. ITU-R M.2282: 359 Annex 17 (WP 5A)
RLAN characteristics	Rec. M.1450: 359 Annex 12 (WP 5A), 379 (ETSI), 397 (CCSA), 413 (CEPT), 424 (Canada), 433 (米国), 437 (WBU-TC), 438 (IEEE), 474 (中国) Support WG 4 with characteristics for sharing & coexistence studies
ANT, HNT	351 (ITU-T SG9), 352 (ITU-T SG 15), 353 (ITU-T SG 15)

### 【出力文書】

Railways (incl. Resolution 240 (WRC-19))	5A/TEMP/158 R1 (M.2442), 159 R1 (LS), 160 R1 (FRQ), 166 R1 (Workplan)
Broadband Wireless Access	5A/TEMP/167 R1 (M.1801)
Land mobile systems	5A/TEMP/186 (Report on Utilities), 187 (LS)
Air to Ground	—
RLAN characteristics	5A/TEMP/170 R1 (M.1450),
ANTs, HNTs, etc.	—

### 【出席者】

議長 : Mr. Lang Baozhen(中国)、各国代表団

### 【審議概要】

#### (1) Railways

- ・ TEMP/158 R1 (M.2442)については、未修正のセクション等が Editor' s note で” There are no changes in this section.” 等とのみ記載されているの

で、全文を残した上で、修正箇所のみ履歴付きとするよう WG 議長から SWG 議長に指示があり、修正版を持ち越すこととなった。

- ・ TEMP/159 R1 (LS)については、本文中で参照している文書名の後に文書番号とリンクを追記の上、プレナリに上申されることとなった。(最終的には、3.2 節に記載の通り中間プレナリでのイランの反対により、リエゾンの送付は見送られた。)
- ・ TEMP/160 R1 (FRQ)については、Sharing Study を含めるべきという意見に対して賛否両論があり、他の勧告も参考に議論することとして、現状のまま持ち越すこととなった。
- ・ TEMP/166 R1 (Work Plan)については、軽微な修正を行い合意された。

#### (2) Broadband Wireless Access

- ・ ITU-R 勧告 M. 2134 「共用及び両立性検討での使用のための 27.5-29.5 GHz 帯の移動業務のシステムのための受信機の特性及び保護基準」の改訂について、新たな入力文書はなく、更なる検討のため 5A/221 (Annex 11)を次回会合に持ち越すことを決定した。

#### (3) Land mobile systems

- ・ 公共通信 (Utility Communication Systems : UCS) について、ITU-R 新報告草案 M. [UCS]の作業文書 (5A/TEMP/186) の作業を継続し、同文書に関し WP 5D、WP 5C、ITU-T SG 15 の注意を喚起するリエゾン文書を作成した (5A/TEMP/187)。

#### (4) Air to Ground

- ・ ITU-R 報告 M. 2282 の改訂について新たな寄与文書の入力はなく、前回会合の議長報告に添付されていた作業文書を次回会合に持ち越すこととした (5A/359 Annex 17)。

#### (5) RLAN characteristics

- ・ ITU-R 勧告 M. 1801 及び ITU-R 勧告 M. 1450 の修正について議論され、IEEE 等からの複数の寄書、及び会合での議論を反映した形で作業文書の修正が進められ、次回会合で継続議論となった。会合中、DG 及びオフラインメール議論が設定され、WP 5A 議長が議長を務めた。

#### (6) ANTs, HNTs, etc.

- ・ 前回会合から持ち越されてきた ITU-T からのリエゾン文書 (5A/351、352、353) について、現時点で更なる措置は必要ないと判断し、ノートした。

### 4.2.1 RSTT に関する検討

#### 【入力文書】

Rec. RSTT Frequencies: 359 Annex 15 (WP 5A), 450 (日本), 465 (フランス)

Rep. M. 2442: 359 Annex 14 (WP 5A), 466 (フランス)

【出力文書】

5A/TEMP/158 R1 (M. 2442), 159 R1 (LS), 160 R1 (FRQ), 166 R1 (work plan)

【審議概要】

- ・ ITU-R 報告 M. 2442 の改訂については、フランスからの入力文書に基づき Summary of the revision と TABLE 6.1.7 に修正が加えられ、次回会合に持ち越すこととなった。
- ・ リエゾン文書については、フランスからの入力文書に基づきいくつかの修正が加えられ、WG 2 会合に上程されることとなった。
- ・ ITU-R 勧告案 M. [RSTT\_FRQ] については、各地域組織の意見を聞いてまずは Annex の構造を決めてから recommends パートを検討することとなり、日本からの Option 1 の削除提案は見送られ、T.B.D. であることを追記した上で Option 1 と Option 2 を残すこととなった。また、Annex 4 については、日本からの提案を踏まえた修正が行われ、持ち越すこととなった。さらに、現状の作業文書をリエゾン文書に添付し、各地域的機関に送付することになった。(最終的には、3.2 節に記載のとおり、中間プレナリでイランの反対により、リエゾンの送付は見送られた。)
- ・ 作業計画については、ITU-R 勧告案 M. [RSTT\_FRQ] の予定に修正が加えられ、2022 年 5 月の新勧告草案への昇格や、2022 年 11 月の新勧告案へ昇格に関して「昇格する」から「もし適切であれば昇格を検討する」という表現に修正された。

#### 4.2.2 ブロードバンド無線アクセス (BWA) に関する検討

【入力文書】

Rec. ITU-R M. 2134: 5A/221 (Annex 11) (WP 5A)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ ITU-R 勧告 M. 2134 「共用及び両立性検討での使用のための 27.5-29.5 GHz 帯の移動業務のシステムのための受信機の特性及び保護基準」の改訂について、新たな入力文書はなく、更なる検討のため 5A/221 (Annex 11) を次回会合に持ち越すことを決定した。

#### 4.2.3 陸上移動システムに関する検討

【入力文書】

Utilities: 359 Annex 16 (WP 5A), 370 (WP 1A), 442 (UTCAL)

Testbeds: 392 (ITU-T SG 11)

PSME: 430 (米国), 485 (WP 6A)

Reduction of energy consumption: 369 (ITU-T SG 5)

【出力文書】

5A/TEMP/186 R1 (Report on Utilities), 187 R1 (LS)

【審議概要】

- ・ 公共通信について、ラテンアメリカ公共電気通信・技術評議会 (UTCAL) から 1 件の寄与文書を受領し、当該文書は、ITU-R 新報告草案 M. [UCS] の作業文書 (5A/TEMP/186) に統合された。また、同作業文書に関し WP 5D、WP 5C、ITU-T SG 15 に注意喚起を行うリエゾン文書 (5A/TEMP/187) を作成した。
- ・ 公共通信、テストベッド、PMSE (Programme making and special events)、電力消費削減に関するリエゾン文書 (5A/370 (WP 1A), 392 (ITU-T SG 11), 369 (ITU-T SG 5)) 及び寄与文書 (5A/430 (USA)) は現時点で措置は必要ないとされ、ノートされた。
- ・ 会合中に受領した電子式ニュース取材方式 (ENG) に関するリエゾン文書 (5A/485 (WP 6A)) については、更なる検討の時間が必要であるため、次回会合に持ち越すこととした。

#### 4.2.4 空対地に関する検討

【入力文書】

Update of Rep. ITU-R M. 2282: 359 Annex 17 (WP 5A)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ ITU-R 報告 M. 2282 の改訂について新たな寄与文書の入力はなかった。作業文書 (5A/359 Annex 17 (WP 5A)) を次回会合に持ち越すこととした。

#### 4.2.5 無線 LAN (RLAN) の特性に関する検討

【入力文書】

M. 1801: 359 Annex 13 (WP 5A), 398 (CCSA), 410 (TIA), 420 (3GPP TSG RAN), 425 (カナダ), 436 (XGP Forum), 439 (IEEE)

Rec. M. 1450: 359 Annex 12 (WP 5A), 379 (ETSI), 397 (CCSA), 413 (CEPT), 424 (カナダ), 433 (米国), 437 (WBU-TC), 438 (IEEE), 474 (中国)

【出力文書】

5A/TEMP/167 R1 (M. 1801), 170 R1 (M. 1450)

【審議概要】

- ・ ITU-R 勧告 M. 1801、ITU-R 勧告 M. 1450 の修正が議論された。なお、これら勧告修正の議論としては、2020 年 7 月会合で IEEE が最近の IEEE 802.11 の標準仕様の更新を反映させる修正提案の寄書を入力し、中国・ロシアが周波数の範囲等に懸念を示して議論が停滞していたが、前回会合で作業文書の作成が合意され、修正議論が開始された。日本からは、前回会合中に日本国内制度と RR に関する古い記述の修正提案を入力し、作業文書に暫定反映されている。
- ・ ITU-R 勧告 M. 1801 について、主な入力寄書として IEEE から作業文書の修正



提案、及び複数の標準化機関から標準仕様の更新等に関する入力があった。

- ・ ITU-R 勧告 M. 1450 について、主な入力寄書として、IEEE から作業文書の修正提案、中国から RLAN の 5 GHz 帯（決議第 229 (WRC-19) の対象）以外での使用制限を強制する提案、CCSA（中国の国内機関）から移動業務の他システムとの共用検討の必要性の主張、WBU（世界放送連合）から独自の共用検討の結果と RLAN への制約追加の提案などが入力された。
- ・ DG が設置され、WP 5A 議長の Jose Costa 氏が議長を務めた。
- ・ DG で、ITU-R 勧告 M. 1801 の修正について、IMT の周波数に関する記述、IEEE 802. 11 の nomadic/mobile の区別の見直し、Table 内の各方式の周波数の表記方法に関して議論があり、次回会合で継続議論となることが確認された。
- ・ DG で、ITU-R 勧告 M. 1450 の修正について次の議論があった。中国・ロシア・WBU が主張する RLAN への制約追加、特に 5 GHz 帯以外の利用制限の強制を提案する箇所に対して、米国・英国・ドイツなどが強い懸念を示し、日本からも制約を削除する案を提示した。recommends 1 の部分で、Table 2 (RLAN の標準仕様等を記載) の参照の方法について、中国が単に参考情報としての参照とするよう主張し、今後継続議論が必要と確認された。
- ・ DG 内で、オフラインメール議論が開催された。各国が従来の主張を繰り返した。日本からは、中国・ロシア・WBU による 6 GHz 帯を想定した RLAN 利用への制約追加提案に対して、「各国主管庁は、移動業務に分配された周波数を RLAN で利用する権利があり、これらの提案はその権利を制限するのではないかと懸念する」旨の意見を行い、作業文書の Editor' s note に反映された。
- ・ DG では、継続議論が必要となる部分を残した形で作業文書が WG 2 に提出された。
- ・ WG 2 では、Editor' s note の文言の修正などの議論があり、次回会合で継続議論することを確認し、TEMP 文書が WP5A に提出された。
- ・ WP 5A プレナリでも、RLAN に関して議論があった。米国・英国等が、6 GHz 帯に関して移動業務の他のアプリケーションとの共用検討は不要であると主張し、中国・ロシア・WBU が反論した。米国が、ITU-R 勧告 M. 1450 への 6 GHz 帯の追記は問題ないと主張し、イランが反対の見解を示した。中国等の RLAN の利用制限を強制する提案に対しては、イランが許容されない旨意見し、作業文書に要修正であることが追記されることとなった。

#### 4. 2. 6 ANT、HNT 等

##### 【入力文書】

5A/351 (ITU-T SG9), 352 (ITU-T SG 15), 353 (ITU-T SG 15)

##### 【出力文書】

なし

##### 【審議概要】

- ・ 現時点で更なる措置は必要ないと判断し、前回会合から持ち越されてきた ITU-T からのリエゾン入力文書 (5A/351、352、353) をノートした。

#### 4.2.7 ITU-R 文書の見直し

【入力文書】

Section 1 of Annex 1 to 5A/359 (WP 5A)

【出力文書】

—

【審議概要】

- ・ WP 5A 文書のステータス (5A/359) の Annex 1 の第 1 節及び陸上移動業務に関連する ITU-R 文書の使用の手引について、WG 2 の観点からは修正の必要がないことを確認した。

### 4.3 WG 3 (PPDR)

#### 【入力文書】

Update of Compendium	389 (WP 4C), 393 (ITU-T SG 11), 402 (ITU-T SG2), 404 (WP 7C), 417 (WP 5D)
Updates of ITU-R Reports	428 (WP 4A), 435 (ITU-D SG2), 447 (IAFI), 486 (WP 5C)

#### 【出力文書】

Update of Compendium	5A/TEMP/150 R1、152 R1、165
Updates of ITU-R Reports	5A/TEMP/151 R1
WG 3 Chairman's Report	5A/TEMP/169

#### 【出席者】

Amy Sanders (米・議長)、日、米、加、豪、韓、中、モトローラ等、最大 58 名

#### 【審議概要】

- ・ WG 3 は、PPDR (Public Protection and Disaster Relief) について審議する WG であり、今会合中に 2 回開催され、持越し文書 1 件を含む 11 件（1 件はオープニングプレナリ後遅れて入力）の入力文書を審議した。
- ・ 主な議題は、コンペンディアム（抄録）に関する検討と M. 2377 の改訂の検討と、外部からの入力文書への対応であったが、抄録の議論の中で、新たな陸上移動における緊急通信のためのハンドブックの作成と、決議第 55-3 の改訂について、議論を進めることとなった。
- ・ 抄録に関する検討については、各セクタ他からの入力を確認し、反対意見はないものの、複数のセクタの成果である本文書の取り扱いについては、Inter-Sector Coordination Task Force (ISC-TF) に図るべきとの意見に従い、現状を総括し対応指針を求めるリエゾン文書を作成し、また、各リエゾン文書を入力したセクタには、返礼と今回の対応の概要の報告を含んだリエゾン文書を作成し送付した。
- ・ M. 2377 については、予定された 5D からの追加入力文書がなかったが、IAFI からの入力文書(448)があり、この入力を改訂内容として、持越し文書と合わせて WD を作成した。議論はせず議長報告に添付して持ち越すこととした。
- ・ 入力文書 5A/447 (IAFI) 記載のハンドブックの提案について議論し、決議第 55-3 記載の陸上移動通信における、緊急通信に関する新たなドキュメント・ハンドブックの作成を行う事で合意した。次回会合以降に、具体的な入力文書を待って、具体議論を開始する。
- ・ 入力文書 5A/447 (IAFI) 記載にて提案された決議第 55-3 の改訂について、該当決議が、WP 5A の WG 3 に割り当てされている事を確認し、内容の改訂を行う事が有用であると判断した。次回以降の入力文書を待ち、基となる作業文書を作成し、WG 3 議長報告に添付し、CF した。
- ・ WG 3 議長が作成している The Disaster Relief Liaison Rapporteur's Report (5A/482) については、プレナリに割り当てられているとして、紹介と議論は行わず、確認のみとした。
- ・ 前回主幹の WG 5 と連携して検討する ITU-R M. 1307 の確認については、今回特段の議論はなかった。

#### 4.3.1 コンペンディウム（抄録）に関する検討

##### 【入力文書】

389 (WP 4C), 393 (ITU-T SG 11), 402 (ITU-T SG2), 404 (WP 7C), 417 (WP 5D), 428 (WP 4A), 435 (ITU-D SG2), 447 (IAFI), 486 (WP 5C)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/150 R1、5A/TEMP/152 R1

##### 【審議概要】

- ・各セクタからのリエゾンの紹介がなされ、議長から、活動結果の返信リエゾン文書の要望もあることからリエゾン文書を作る旨の方針が出された。
- ・447 (IAFI)において、削除への同意のみならず、手引 (hand book) の作成を行うと良いと考え、またその際には、決議第 55 との関連性を確認する必要があると考える意見が重ねて述べられた。
- ・議長より、5A/447 には複数の提案が存在しており、対応の整理が必要との方針の意見があり、これらについては、抄録への対応とは分離した議論として進められた。(別章に記載)
- ・Inter Sector Coordination Task Force (ISC-TF) から、本文書は、複数のセクタの連携した取り組みによって作られており、今後の取扱も、本 TF でウェブサイトへの情報引継ぎも含めてハンドリングするのが妥当との意見があり、合意された。
- ・モトローラから、WP 5C で前回のリエゾンに対する返信を予定しており、それを待つて欲しいとの意見があったが、議長は、その必要はなく、今回作成するリエゾンを改めて WP 5C にも送付することで対応する旨、回答がされた。(結果として、WP 5C からのリエゾンは遅れた形で提出された 5A/486。)
- ・IAFI の提案で、まず ISC-TF に状況を WP 5A で総括したリエゾン文書を送付し、対応の助言を求めることとなった。
- ・WG 3 議長が作成した ISC-TF のリエゾン文書案について、WG 3 内でレビューを実施。WG 議長から TEMP 文書の紹介があり、WP 5A で抄録の削除について議論したが、複数のセクタの共有成果である本文書の取扱について助言を求める内容と各リエゾン文書の意見総覧を記載し説明。イランから、最後の Proposal が Action Required とするのが適当との意見があり、修正を実施して TEMP Rev.1 として WG 3 で承認された。
- ・抄録の削除に対する各リエゾンへの返信リエゾン。入力への感謝と、今回の議論の概要、ISC-TF へのリエゾン文書に関する内容が記載されている。イランから、タイトルの PARTIES の ENTITIES への変更と、タイトルと第一段落の proposed が適当ではないとする削除提案が行われ、変更を反映して TEMP Rev.1 として WG 3 で承認された。

#### 4.3.2 ITU-R 報告の更新に関する検討

【入力文書】

891 (WP 5D), 448 (IAFI)

【出力文書】

5A/TEMP/151 R1

【審議概要】

- ・ M. 2377 については、予定された WP 5D からの追加入力文書がなかったが、IAFI からの入力文書 5A/448 があり、内容が紹介された。
- ・ 黄色にてハイライトされている旨補足があり、加えて改訂のページについては、表があるがページが 1 ずつずれている旨の謝罪があった。
- ・ 議長から、改訂のための TEMP 文書を作る旨の方針が意見された。
- ・ IAFI から、Work plan を作る必要性が意見されたが、議長は現状では必要なく、必要に応じて検討する旨の回答があった。
- ・ 議長より一部の変更内容については、参照しているオリジナルの文書との関係もあり、修正できない可能性についても意見された。
- ・ 入力文書の改訂内容を反映した作業文書を作成したが、議論は行われず、次回、他の入力文書と合わせて議論するとして、WG 議長から入力文書を推奨する旨の意見がなされた。
- ・ 作成された作業文書に関して、中国から、Annex 7 の CCSA 関連部分の記載について、文書番号の補足情報が提供され、反映された。またウェブサイトのリンク情報について、CCSA を直接参照すべきとして意見があり、別途確認するものとした。
- ・ 以上の反映と議論が行われ、TEMP Rev. 1 として WG 3 で承認された。

#### 4.3.3 陸上移動業務の下での緊急通信に関する新文書の作成に関する検討

【入力文書】

447 (IAFI)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ 抄録の議論の中で IAFI 提案された、手引（ハンドブック）又は報告の作成について議論が行われた。
- ・ IAFI から、WG 3 で骨子やスケジュールを作って共有すべきとの提案があったが、議長から、何も入力情報がなく、まず今会合でどのように進めるかレビューから開始する旨、方針の回答があった。
- ・ 該当方針は、WG 3 議長報告に記載され、次回、入力文書を推奨し、その結果と合わせて議論することとなった。

#### 4.4 WG 4 (干渉と共用)

##### 【入力文書】

Documents copied to WP 5A for information	5A/360 (WP 6A), 361 (WP 5C), 362 (＼), 363 (＼), 364 (＼), 365 (＼), 366 (＼), 367 (ITU-T SG 5), 372 (WP 5B), 380 (WP 3K及び3M), 381 (＼), 382 (WP 3J、3K及び3M), 383 (WP 3K及び3M), 385 (＼), 391 (WP 4C), 405 (WP 7D), 408 (WP 7C), 423 (WP 6A)
Characteristics for sharing studies with EESS and MetSat	5A/400 (WP 7B)
Field measurements of unwanted emissions from IMT AAS	5A/377 (3GPP)
WRC-19 agenda item 1.3	5A/74 (ESOA), 88 (WP 5B), 190 (中国), 203 (エリクソン、ファーウェイ、インテル、ノキア、サムスン), 204 (＼), 233 (WP 5C), 298 (スウェーデン、フィンランド), 301 (中国), 313 (南アフリカ、ジンバブエ), 322 (ドイツ), 328 (ESOA), 331 (エジプト、UAE), 332 (＼), 333 (＼), 334 (＼), 378 R1 (WP 5D), 384 (WP 3K及び3M), 394 (WP 4A), 395 (＼), 416 (WP 5D), 441 (ウズベキスタン), 443 (ブルキナファソ、コートジボワール、ガーナ、ギニア、マリ、ニジェール、トーゴ), 444 (ガーナ、ギニア、ニジェール), 455 (ナイジェリア、南アフリカ、ジンバブエ), 456 (＼), 457 (＼), 464 (フランス、ドイツ), 467 (GSMA), 468 (エジプト、UAE)
Revision of Recommendation ITU-R M.1824	5A/449 (日本)
EESS (passive) studies in 6 425-7 125 MHz	5A/409 (WP 7C)
Protection of land mobile systems (RR No. 21.16.6)	5A/480 (WP 4A)
Range 92-109.5 GHz	5A/451 (日本)
Range 252-296 GHz	5A/386 (WP 3J、3K及び3M), 452 (日本), 471 (ロシア), 487 (WP 5C)
Beam Wireless Power Transmission (WPT)	5A/371 (WP 1A), 405 (WP 7D), 408 (WP 7C), 483 (WP 1A)
WRC-23 agenda item 1.2	5A/15 (WP 5D), 206 (UAE)
WRC-23 agenda item 1.4	5A/373, 5A/414 (WP 5D)
WRC-23 agenda item 1.5	5A/375 (ラトビア)
WRC-23 agenda item 1.13	5A/401 (WP 7B)
WRC-23 agenda item 1.15	5A/463 (WP 4A)
WRC-23 agenda item 1.18	5A/390 (WP 4C)

Resolution 731 (Rev.WRC-19)	5A/343 (WP 7C), 388 (WP 3J、3K及び3M), 406 (WP 7D), 426 (カナダ)
-----------------------------	--

【出力文書】

Documents copied to WP 5A for information	—
Characteristics for sharing studies with EESS and MetSat	—
Field measurements of unwanted emissions from IMT AAS	—
WRC-19 agenda item 1.3	5A/TEMP/180 (draft CPM text), TEMP/181 (SWG 議長報告), TEMP/182 (Workplan), TEMP/183 (ToR CG), TEMP/184 (Working document)
Revision of Recommendation ITU-R M.1824	5A/TEMP/155
EESS (passive) studies in 6 425-7 125 MHz	5A/TEMP/178
Protection of land mobile systems (RR No. 21.16.6)	5A/TEMP/179
Range 92-109.5 GHz	5A/TEMP/156
Range 252-296 GHz	5A/TEMP/153
Beam Wireless Power Transmission (WPT)	—
WRC-23 agenda item 1.2	—
WRC-23 agenda item 1.4	—
WRC-23 agenda item 1.5	—
WRC-23 agenda item 1.13	—
WRC-23 agenda item 1.15	5A/TEMP/173
WRC-23 agenda item 1.18	—
Resolution 731 (Rev.WRC-19)	5A/TEMP/157 (Working document)
Revision of WP 5A texts	
Documents carried forward to the next meeting	Range 252-296 GHz: 5A/487 (WP 5C) Resolution 731 (Rev.WRC-19): 5A/343 (WP 7C), 388 (WP 3J、3K及び3M), 406 (WP 7D) Beam Wireless Power Transmission (WPT): 5A/371 (WP 1A), 483 (WP 1A)

【出席者】

議長 Michael Kraemer (ドイツ)

【審議概要】

- ・ ITU-R 勧告 M.1824 の改訂作業を完了し、WP 5A プレナリに改訂草案への格上げを提案した。プレナリで承認され、SG 5 に上程することとなった (5A/TEMP/155)。
- ・ 92-109.5 GHz に関する作業を完了し、WP 5A プレナリに新報告草案への格上げを提案した。プレナリで承認され、SG 5 に上程することとなった (5A/TEMP/156)。

- ・ 252-296 GHz 帯及び決議第 731 (WRC-19 改) に関連する作業を継続した。
- ・ WP 5A が責任グループとなっている WRC-23 議題 1.3 の準備作業を継続した。共用・両立性検討の新報告に向けた作業文書を作成した (5A/TEMP/184)。CPM テキスト案の背景部分の検討を行ったが、合意に至ったのは 1 段落のみであり、異なる様々な見解が残された形で次回審議に持ち越された (5A/TEMP/180)。CPM テキストの本論部分の検討は行われなかった。コレスポンス・グループ (CG) の要否についても議論が紛糾し、WG 4 及びプレナリでも合意に至らなかったため設置しないこととなった。
- ・ WRC-23 関連及びその他の共用検討のため、様々な WP に技術特性や他の関連情報を提供した。

#### 4.4.1 情報のため WP 5A にコピーされた文書

##### 【入力文書】

5A/360 (WP 6A), 361 (WP 5C), 362 (〃), 363 (〃), 364 (〃), 365 (〃), 366 (〃), 367 (ITU-T SG 5), 372 (WP 5B), 380 (WP 3K 及び 3M), 381 (〃), 382 (WP 3J、3K 及び 3M), 383 (WP 3K 及び 3M), 385 (〃), 391 (WP 4C), 405 (WP 7D), 408 (WP 7C), 423 (WP 6A)

##### 【出力文書】

なし

##### 【審議概要】

- ・ これらの文書で提供された情報について、ノートし、本時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

#### 4.4.2 EESS と MetSat の共用検討のための特性

##### 【入力文書】

5A/400 (WP 7B)

##### 【出力文書】

なし

##### 【審議概要】

- ・ WP 7B により提供された情報について、ノートし、必要に応じて WP 5A の更なる作業で考慮することとした。

#### 4.4.3 IMT AAS からの不要発射の測定

##### 【入力文書】

5A/377 (3GPP)

##### 【出力文書】

なし

##### 【審議概要】



- ・ 3GPP により提供された情報について、ノートし、本時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

#### 4.4.4 WRC-23 議題 1.3

##### 【入力文書】

5A/74 (ESOA), 88 (WP 5B), 190 (中国), 203 (エリクソン、ファーウェイ、インテル、ノキア、サムスン), 204 (〃), 233 (WP 5C), 298 (スウェーデン、フィンランド), 301 (中国), 313 (南アフリカ、ジンバブエ), 322 (ドイツ), 328 (ESOA), 331 (エジプト、UAE), 332 (〃), 333 (〃), 334 (〃), 378 R1 (WP 5D), 384 (WP 3K 及び 3M), 394 (WP 4A), 395 (〃), 416 (WP 5D), 441 (ウズベキスタン), 443 (ブルキナファソ、コートジボワール、ガーナ、ギニア、マリ、ニジェール、トーゴ), 444 (ガーナ、ギニア、ニジェール), 455 (ナイジェリア、南アフリカ、ジンバブエ), 456 (〃), 457 (〃), 464 (フランス、ドイツ), 467 (GSMA), 468 (エジプト、UAE)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/180 (draft CPM text), TEMP/181 (SWG 議長報告), TEMP/182 (Workplan), TEMP/183 (ToR CG), TEMP/184 (Working document)

##### 【審議概要】

- ・ WP 5A が責任グループである WRC-23 議題 1.3 について、Cesar GUTIERREZ 氏 (Huawei) を議長とする SWG において作業を継続、全ての入力文書を検討した。
- ・ 共用・両立性検討の新報告に向けた作業文書を作成した (5A/TEMP/184)。また、これまでに作成していた同議題下の共用・両立性検討のための技術特性及び運用パラメータをまとめた文書(5A/359 Annex 18)の内容は5A/TEMP/184に含まれるため更新作業を継続しないこととなった。
- ・ CPM テキスト案の作業文書における第 2 節 (背景) を更新した (5A/TEMP/180)。「Affordable broadband connectivity」、「socio-economic development」などの語を用いてブロードバンド接続の重要性を強調する GSMA 案(5A/467 及び会合中に提出された修正案)に対し、マーケティングと思われる記載で不適切であるとして、ドイツ、フランス、ルクセンブルク、スイス案(会合中に提出)が提出された。このほかにも同議題は IMT 特定の検討を含むかどうかについてなど様々な見解や Editor' s Note 追記の要請が提出され、角括弧内に異なる見解のそれぞれを残し、3600-3800 MHz 帯の現状を記述した部分のみ合意した。議論が背景部分に集中し、本論である第 3~5 節の検討が行われなかったことから、作業の遅れに対する懸念が寄せられた。次回会合に対して第 3~5 節への寄与文書の入力が必要とされた。
- ・ 同内容の議論の繰り返し、当初意見の繰り返しが数時間続くこともあり、ITU-R 決議第 2 に基づき、各主管庁の異なる意見に対し妥協が見い出せない場合はそれぞれを作業文書に記載することとし、長時間にわたる議論の繰り返しを避けることが求められた。
- ・ 同議題のためのコレスポネンス・グループ (CG) の設置が検討されたが、同 CG の作業内容について対し、CPM テキストの作成を最優先すべきという意

見や、共用・両立性検討の作業を先に行うべきという意見、IMT 特定の是非などこれまでの議論を繰り返さないという条件付与への反対意見などが提出され、合意が得られなかった。このため、責任範囲 (ToR) 案 (5A/TEMP/183) をプレナリに提出し、議論を持ち越すこととなった。プレナリでも合意に至らなかったため、CG は設置しないこととなった。

#### 4.4.5 ITU-R 勧告 M.1824 の改訂

【入力文書】

5A/449 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/155

【審議概要】

- ・本勧告の改訂は、前回の WP 5A 会合ですでに安定的であり、作業文書は勧告改訂草案へ格上げされていた。ITU-R 勧告の新様式に合わせて略語の一覧を追加することが未処理の課題であり、入力寄与文書に基づき本 WP 5A 会合で完了し、WG 4 において、本改訂を最終化し、SG 5 に提出するようプレナリに提案することに合意した。

#### 4.4.6 6425-7125 MHz における EESS (受動) の検討

【入力文書】

5A/409 (WP 7C)

【出力文書】

5A/TEMP/178

【審議概要】

- ・要請された情報を提供するため、WP 7C への返信リエゾンを作成した。

#### 4.4.7 陸上移動業務の保護 (RR 第 21.16.6 条)

【入力文書】

5A/480 (WP 4A)

【出力文書】

5A/TEMP/179

【審議概要】

- ・要請された情報を提供するため、WP 4A への返信リエゾンを作成した。

#### 4.4.8 92-109.5 GHz 範囲

【入力文書】

5A/451 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/156

【審議概要】

- ・本新報告案は、前回の WP 5A 会合で安定的であり、作業文書は新報告草案へ格上げされていた。入力寄与文書に基づき、最終的な編集上の更新の後、WG 4 において、本報告を最終化し、SG 5 に提出するようプレナリに提出することに合意した。

#### 4.4.9 252-296 GHz 範囲

【入力文書】

5A/386 (WP 3J、3K 及び 3M), 452 (日本), 471 (ロシア), 487 (WP 5C)

【出力文書】

5A/TEMP/153

【審議概要】

- ・入力寄与文書に基づき、作業文書を更新した。WP 5A からの情報提供要請への返答リエゾン文書である 5A/487 が (WP 5A と並行で開催されている WP 5C から) WP 5A 会合の終わりに接到したため、WP 5C からの情報を完全に確認・対処することができなかった。そのため、当該作業文書の更新の更なる検討のため、次回 WP 5A 会合に 5A/487 を持ち越すことに合意した。また、本話題に関して次回 WP 5A 会合への入力文書を準備する際に、WP 5A のメンバーは WP 5C によって提供された本情報を考慮することが提案された。

#### 4.4.10 ビーム無線電力伝送 (WPT)

【入力文書】

5A/371 (WP 1A), 405 (WP 7D), 408 (WP 7C), 483 (WP 1A)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・WP 7C 及び WP 7D により文書 5A/408 及び 5A/405 でそれぞれ提供された情報について、ノートし、次回 WP 5A 会合でより詳細に本問題を検討するため、また可能であれば WP 1A への返信を作成するため、文書 5A/371 及び 5A/483 を持ち越すことに合意した。

#### 4.4.11 WRC-23 議題 1.2

【入力文書】

5A/15 (WP 5D), 206 (UAE)

【出力文書】

なし

**【審議概要】**

- ・ 前回会合から持ち越された文書（5A/15（WP 5D）、206（UAE））に関し、更なる議論を実施しなかった。

**4.4.12 WRC-23 議題 1.4**

**【入力文書】**

5A/373, 5A/414（WP 5D）

**【出力文書】**

なし

**【審議概要】**

- ・ WP 5Dにより提供された情報について、ノートし、本時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

**4.4.13 WRC-23 議題 1.5**

**【入力文書】**

5A/375（ラトビア）

**【出力文書】**

なし

**【審議概要】**

- ・ WRC-23 議題 1.5に関するラトビアから TG 6/1 への入力があったが、（GPM23-1により設定されている締切に合わせて）前回の WP 5A 会合から既に送付されていたことから、WG 4において、SG 5 カウンセラーとの協議の後、TG 6/1 に本情報を送らないことに合意した。BR がラトビアに対し、必要と判断すれば直接 TG 6/1 に情報提供できることを連絡した。

**4.4.14 WRC-23 議題 1.13**

**【入力文書】**

5A/401（WP 7B）

**【出力文書】**

なし

**【審議概要】**

- ・ WP 7Bにより提供された情報について、ノートし、本時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

**4.4.15 WRC-23 議題 1.15**

**【入力文書】**

5A/463（WP 4A）

【出力文書】  
5A/TEMP/173

【審議概要】

- ・要請された情報を提供するため、WP 4A への返信リエゾンを作成した。

#### 4.4.16 WRC-23 議題 1.18

【入力文書】  
5A/390 (WP 4C)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・WP 4C により提供された情報について、ノートし、本時点で更なる措置の必要がないことを確認した。

#### 4.4.17 決議第 731 (WRC-19、改)

【入力文書】  
5A/343 (WP 7C), 388 (WP 3J、3K 及び 3M), 406 (WP 7D), 426 (カナダ)

【出力文書】

5A/TEMP/157 (Working document)

【審議概要】

- ・入力寄与文書に基づき作業文書を更新し、更なる検討のため文書 5A/343 及び 5A/406 を次回 WP 5A 会合に持ち越すことを決定した。他の WP へのフィードバックを提供できるよう、特に他の WP からのリエゾンで提起された問題に取り組むよう、次回 WP 5A 会合への入力寄与文書が促された。

#### 4.4.17 WP 5A 文書の見直し

【入力文書】

なし

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節及び陸上移動業務に関連する ITU-R 文書の使用の手引きについて、本 WP 5A 会合で意見なく、文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節に関する意見を直接 WP 5A 議長に伝えるよう代表団に促された。

#### 4.5 WG 5（新技術）

##### 【入力文書】

Intelligent transport systems (ITS)	General: INFO/3 (CITS/IAA), 368 (ITU-T SG 16), 396 (CCSA), 403 (CITS), 415 (WP 5D), 421 (ETSI TC ITS) CAV (Question ITU-R 261/5): 359 Annex 24 (WP 5A), 429 (米国), 440 (韓国), 446 (IAFI), 453 (日本), 459 (5GAA), 473 (中国), 475 (中国), 477 (ドイツ), 479 (クアルコム) Rec. M. 2121 (Question ITU-R 205-6/5): 359 Annex 25 (WP 5A) Rep. M. 2444 (Question ITU-R 205-6/5): 359 Annex 26 (WP 5A), 412 (CEPT)
275 GHz 超	Rep. M. 2417: 359 Annex 27 (WP 5A), 454 (日本)
Machine Type Communications (MTC)	General: 374 (ITU-T SG 20), 376 (ITU-T SG 20), 411 (oneM2M), 419 (ITU-T SG 20) Rep. M. 2479: 476 (ドイツ)

##### 【出力文書】

Intelligent transport systems (ITS)	5A/TEMP/164, 171 R1, 172 R1
275 GHz 超	5A/TEMP/162 R1, 163 R1
Machine Type Communications (MTC)	5A/TEMP/168 R1

##### 【出席者】

議長 吉野仁氏（日本）、米国、中国、韓国、ドイツ、フランス、クアルコム、5GAA 等、約 30 名～80 名

##### 【審議概要】

- ・本WGは今会合中に5回開催され、ITS関係16件の寄与文書等を審議し、ITS関係3件の出力文書を作成した。ITS関連を審議するためSWG-ITS（小山敏氏（日本））が設けられた。

##### 【新ITU-R報告草案M. [CAV]に向けた作業文書】

- ・CAV関連では、米国（5A/429）、韓国（440）、IAFI（446）、日本（453）、5GAA（459）、中国（473, 475）、ドイツ（477）、クアルコム（479）から作業文書の加筆や修正等の提案があった。審議の結果、作業文書（5A/TEMP/171 R1）が更新され、次回会合で更に作業を継続することとなった。
- ・日本から入力した寄与文書（453）は、前回各国から出された質問等に答え、また完成度を高めるべく、機能要素の定義を明確にするとともに、都市部・高速道路での自動走行の文章を追記等するもので、その具体的な内容は以下のとおり。

##### 前回の寄与文書で用いた各種用語の定義を明確化する提案

- ・即応性の定義に関し、当該機能要素が、短い時間枠の中で、関連する

メッセージが伝達され、応答／反応されることを必要とすることを表すとし、英訳を‘Quick responsiveness’に変更。

- ・対象車両にある‘Privately owned vehicles’（オーナー・カー）は、CAVの適用対象を狭めることを意図したものではなく、提案した機能要素のほとんどは、タクシーやバス、公用車などにも適用される旨を追記。
- ・‘Type of Communication’（通信タイプ）‘Connection mode’（接続形態）の指すもの（‘V2V’や‘1対多’）の対応関係が逆であったため必要な修正を行う。

#### 自動運転ユースケースの章の完成度を高めるための提案

- ・この章にある7つのユースケースについて、表6.2-1の分類に従い、‘高度ITS’と‘CAV’に分けて整序することを提案。
  - ・空欄となっている‘都市’での自動運転ユースケースの節について、標題に‘高速道路’を加えるとともに、テキストを提案。
- 
- ・機能要素の特性の1つである‘データ量’に関し、ドイツより、大・小に中を加え、3区分とすることが提案された。ドイツの説明では、小を1000 byte以下、中を1000-2000 byte、大を2000 byteと定義してはどうかとのこと。審議の結果、この案を仮置きし、各国持ち帰って検討し、次回会合で確認することとなった。
  - ・前回会合で、日本からは、SIP-adusでドロップした機能要素も作業文書に掲載することを提案したところ、ドロップしたこれら機能要素も新報告草案に取り込まれた。今回、米国から、ドロップしたものを載せることの趣旨をより明確に記述すべきとの指摘があった。日本より、検討した機能要素の全体像を示し、その中から選んだというプロセスを読者に理解してもらうためと説明。次回会合で日本から具体的な文案を入力するよう要請された。
  - ・また、日本提案に基づき新報告草案に記載された25件の機能要素に係る節は、30ページを超えるため、要約を本体に置き、それ以外をAnnexに移すなどによって、読みやすさを改善する必要があると指摘された。
  - ・IEEE802.11p/bdと3GPP LTE-V2X/5G-NR V2Xの2つの技術仕様について、それぞれの特徴をどう記述するかを巡り、後者に不利とならない記述を望むQualcommと前者の優位性の記述を望むドイツとの間で、行ったり来たりの議論が続いた。意見が対立したのは、同一チャネルでの共存、後方両立性、相互運用性等の技術仕様についてである。これらの対立点については、次回会合で更に検討することとなった。
  - ・前回までの作業の結果、新報告草案には、‘5.9 GHz帯でCAV用周波数として最低限70 MHz幅が必要である’と記載されていた。今回、ドイツが新たな研究結果に基づき‘最低限70-75 MHz幅が必要’と幅を若干引き上げる修正案を入力した。これに対し、米国（FCC）より、算定の根拠とされる研究はいずれも外部の業界団体によるものであり、その算定結果をそのままITU-Rの結論とすることに強い反対があった。前回会合で、‘地域や国ごとに交通事情等が異なるため、一律70 MHz幅の周波数要求に反対’としていた中

国もこれに賛同した。今回会合では解決策を見出せず、次回会合で更に検討することとなった。

- ・また、報告M. [CAV]に関する作業計画（5A/TEMP/172 R1）が更新された。

#### 【ITU-R勧告M. 2121及びITU-R報告M. 2444の改訂】

- ・前回会合でITS用周波数帯の調和に関する勧告M. 2121及びITSの周波数アレンジメント例に関する報告M. 2444を改訂することが合意された。M. 2444の改訂に関して、今回、CEPTより提案（5A/412）があり、2020年のEUの制度改正を踏まえた更新が行われた。M. 2121の改訂に関しては今回入力がなかったため、次回会合に審議を持ち越すこととなった。また、関連の作業計画が更新された（5A/TEMP/172 R1）。

#### 【ITU-R報告M. 2417改訂草案に向けた作業文書】

- ・Offline DG on Revision of ITU-R M. 2417 (Above 275 GHz)が設置された。
- ・ITU-R報告M. 2417-0の作業文書の改訂草案への格上げが合意された（5A/TEMP/162 R1）。
- ・275 GHz以上のLMS応用のSpectrum Needsに関するITU-R新報告草案に向けた作業文書作成が合意された（5A/TEMP/163 R1）。

### 4.5.1 高度道路交通システム（ITS）

#### 【入力文書】

General: INFO/3 (CITS/IAA), 368 (ITU-T SG 16), 396 (CCSA), 403 (CITS), 415 (WP 5D), 421 (ETSI TC ITS)

CAV (Question ITU-R 261/5): 359 Annex 24 (WP 5A), 429 (米国), 440 (韓国), 446 (IAFI), 453 (日本), 459 (5GAA), 473 (中国), 475 (中国), 477 (ドイツ), 479 (クアルコム)

Rec. M. 2121 (Question ITU-R 205-6/5): 359 Annex 25 (WP 5A)

Rep. M. 2444 (Question ITU-R 205-6/5): 359 Annex 26 (WP 5A), 412 (CEPT)

#### 【出力文書】

5A/TEMP/164, 171 R1, 172 R1

#### 【審議概要】

- ・10件の寄与文書等を検討し、新ITU-R報告M. [CAV]草案に向けての作業文書（5A/TEMP/171 R1）を更新した。また、関連の作業計画を見直し、更新した（TEMP/172）。
- ・ITU-R報告M. 2444の改訂に関するCEPTからの寄与文書（5A/412）を検討し、同報告改訂に向けての作業文書を更新した（TEMP/164）。ITU-R勧告M. 2121の改訂については、今回会合では入力がなかったため、当該作業文書（5A/359 Annex 25）を次回WP 5A会合に持ち越すこととした。関連の作業計画を見直し、更新した（TEMP/172 R1）。
- ・IAA MobilityからのCITSに関する情報文書（5A/INFO/3）を検討し、これを



ノートした。

- ・ ITU-T F. VG-VMA “Architecture of Vehicular Multimedia systems”の勧告草案に関する ITU-T SG 16 のリエゾン文書(5A/368)を検討し、ノートした。
- ・ CCSA からのリエゾン返書 (5A/396) を検討し、ノートした。
- ・ ITU-T Collaboration on ITS Communication Standards (CITS)からのリエゾン文書(5A/403)を検討し、ノートした。このリエゾン文書は、関連の規格策定開発機関 (SDO) からの情報提供を求めるもの。
- ・ WP 5D からのリエゾン文書 (5A/415) を検討し、ノートした。このリエゾン文書は、新 ITU-R 報告“The use of the terrestrial component of IMT for Cellular-Vehicle-to-Everything applications ”に関する情報を提供するもの。
- ・ ETSI TC ITS からのリエゾン文書(5A/421)を検討し、ノートした。このリエゾン文書は Draft ETSI TR 102 638 Basic set of applications release 2 に対するフィードバックを求めるもの。

#### 4.5.2 275 GHz 超の陸上移動業務の技術・運用特性

##### 【入力文書】

Rep. M. 2417: 359 Annex 27 (WP 5A), 454 (日本)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/162 R1, 163 R1

##### 【審議概要】

- ・ 日本からの ITU-R 報告 M. 2417-0 の変更提案があったために、オフライン DG が設置された (コンビーナ: 小川)。このオフライン DG には、米国、ロシア、カナダ、ATDI、クアルコムらが参加した。
- ・ 日本からの Annex 6 (296-306 GHz、313-318 GHz、333-356 GHz の各周波数帯を LMS 応用に特定するための条件) の削除提案に対して、米国から前書きに記述されていた Annex 6 に関する文章に、現在 WG 4 で審議中のカナダ提案の新報告と補完関係であることを追加提案があり、この提案を採用することで Annex 6 の削除合意も行われた。
- ・ 日本からの Spectrum Needs に関する第 8 節の変更提案があったが、本報告は技術運用特性に関する報告であること、WRC-19 議題 1.15 への寄与は終了していること、将来の LMS 応用の Spectrum Needs の研究に取り組む必要があること、この研究は決議第 731 (WRC-19 改) ではなく研究課題 256-1/5 に基づいて行うこと等の合意の下、日本提案の第 8 節を基に 275 GHz 以上の LMS 応用のための Spectrum Need に関する新報告草案に向けた作業文書を作成することが合意された。
- ・ 前会合において作業文書内で参照されていない勧告を第 3 節のリストに掲載すべきではないと米国が主張したため F. 699 を [] 付きとしたが、日本の寄書 Annex 2 に F. 699 を参照する文書追加提案を行っており、これにより [] の削除が合意された。

- ・日本の寄書の ITU-R 報告改訂草案への格上げ提案は、特段の反対なく合意された。

#### 4.5.3 機械型通信 (MTC)

##### 【入力文書】

General: 374 (ITU-T SG 20), 376 (ITU-T SG 20), 411(oneM2M), 419 (ITU-T SG 20)

Rep. M.2479: 476 (ドイツ)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/168 R1

##### 【審議概要】

- ・ ITU-R 報告 M.2479-0 について、入力文書を検討し、改訂草案に向けた作業文書を作成した (TEMP/168 R1)。また、作業計画の作成・見直しに関する作業を開始した。
- ・ 会合において、WP 5A (陸上移動技術を用いる私設網) と WP 5D (IMT) との重複作業を避ける必要があるとの見解が表明された。
- ・ 「アプリケーション・レイヤ」の用語の定義に関する ITU-T SG 20 及び oneM2M からの 3 件のリエゾン (前研究会期で WP 5A からのリエゾンへの意見) について、検討を行った。結果として、oneM2M が一般的な用語「アプリケーション・レイヤ」の代わりに「IoT アプリケーション・レイヤ」の用語を定義したことを oneM2M から WP 5A に通知したものであり、当該リエゾンをノートした。
- ・ 「デジタル農業のための人工知能及び IoT」に関する新たな ITU-T フォーカスグループ (FG-AI4A) に関する ITU-T SG 20 からのリエゾン (5A/419) について、検討を行い、当該リエゾンをノートした。

#### 4.6 Ad Hoc WG 5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c))

##### 【入力文書】

Draft CPM text	359 (Annex 8) (WP 5A), 418 (英国/CEPT PTA), 472 (ロシア)
Work plan	431 Appendix III (米国), 273 (IAFI), 321 Att.4 (英国/CEPT PT A)
CG Activity/scope of FWB term	418 (英国/CEPT PTA), 422 (CG Chairman), 431 (米国), 445 (IAFI)
“IMT Systems” from Res. 175 (WRC-19)	458 (南アフリカ), 469 (エジプト), 472 (ロシア), 478 (サウジアラビア、UAE)
Rec. ITU-R F.1401-1	85 Annex 8(WP 5A), 418 (英国/CEPT PTA), 445 (IAFI), 458 (南アフリカ), 472 (ロシア), Rec. ITU-R F.1763-1
Rec. ITU-R F.1490-1	321 Att.2 (英国/CEPT PT A), 431 Appendix II, Att. 2 (米国)
Rec. ITU-R F.1763-1	431 Appendix II, Att. 1 (米国)
Question ITU-R 215-4/5	307 (中国), 431 Appendix II, Att. 3 (米国)
New Report / Rec.	431 Appendix I (米国)
Working document/Misc.	221 (Annex 18) (WP 5A), 271 (米国), 321 Att.3 (英国/CEPT PTA), 329 (エジプト), 336 (UAE)

##### 【出力文書】

	TEMP/190 (Meeting report), 191 (Workplan)
--	---

##### 【出席者】

議長 Christine DI LAPI (米国)

##### 【審議概要】

- ・ オフライン議論及びセッション時間を費やし決議第 175 (WRC-19) における「IMT システム」及び「固定無線ブロードバンド」の語の定義について共通理解の形成を試みたが、結論に至らず、2020 年から同様の議論が継続していることが指摘された。次回会合に向け、アクセス、トランスポート、バックホールを含む固定無線システムにおいて IMT 技術が実装できる範囲や種類を特定する入力文書を提出することが要請された。
- ・ 次回会合では CPM テキストの作業に集中する点等を明記した作業計画 (5A/TEMP/191) を更新した。
- ・ このような状況から CPM テキストについての実質的な進展は一切ないまま閉会となり、前回 WP 5A 及び 5C 会合に入力された文書と、本会合に入力された 8 件の寄与文書は全て次回会合に持ち越された。

#### 4.6.1 WRC-23 議題 9.1 c) に関連するオフライン活動

【入力文書】

5A/19 (WP 5A 及び 5C 議長), 85 (議長報告), 221 (議長報告), 307 (中国), 321 (英国/CEPT), 329 (エジプト), 336 (UAE), 418 (英国/CEPT), 422 (CG 議長), 431 (米国), 445 (IAFI), 458 (RSA), 469 (エジプト), 472 (ロシア), 478 (サウジアラビア、UAE)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ 決議第 175 (WRC-19) における「IMT システム」の語の定義に関して議論し、本議題では固定業務の規制基準のもと固定無線ブロードバンド (FWB) システムに利用できる IMT システムのコンポーネント、標準、技術を検討するものと考えられる、という結論を得た (しかし Ad Hoc 9.1.c) におけるオンライン議論で再度異なる意見が交わされ、合意に至らなかった)。
- ・ 決議第 175 (WRC-19) における「固定無線ブロードバンド」(FWB) の語の定義に関して、本議題が固定バックホール及びトランスポートアプリケーションを含むのか、それとも固定ワイヤレスアクセス (FWA) のみを対象としているのか議論が続き、合意に至らなかった。

## 5 今後の予定

WP 5A の次回会合の各 WG 及び Ad Hoc WG の主な審議事項は以下のとおり。

### 5.1 WG 1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 トピック b) の ITU-R 新報告草案 M. [AMATEUR CHARACTERISTICS] の作成作業を継続すること。
- (2) ITU-R 勧告 M. 1732 の改訂作業を継続すること。
- (3) WRC-23 議題 9.1 トピック b) の CPM テキスト草案にむけた作業文書の作成作業を継続すること。
- (4) WG 5A-1 の作業計画を更新すること。

### 5.2 WG 2 (システムと標準)

- (1) ITU-R 新勧告 M. [RSTT\_FRQ] の草案、ITU-R 報告 M. 2442 の改訂草案に向けた作業文書について、それぞれの作業文書の更新を実施すること。
- (2) ITU-R 勧告 M. 1450、ITU-R 勧告 M. 1801 の修正の議論を行うこと。
- (3) ITU-R 報告 M. 2282 改訂の作業文書に関する作業を継続すること。
- (4) ITU-R 新報告草案 M. [UCS] の作業文書に関する作業を継続すること。
- (5) ITU-R 勧告 M. 2134 改訂の作業文書に関する作業を継続すること。
- (6) 寄与文書に基づき、無線アクセスシステム (WAS) 研究課題の作業を継続すること。

### 5.3 WG 3 (PPDR)

- (1) コンペンディウム (抄録) に関する検討を継続すること。
- (2) ITU-R 報告 M. 2377 の改訂の検討を継続すること。
- (3) 決議第 55-3 の改訂を検討すること。
- (4) 決議第 55-3 記載の陸上移動通信における、緊急通信に関する新たな文書・ハンドブック (手引) の作成を検討すること。

### 5.4 WG 4 (干渉と共用)

- (1) 現在作成中の各種作業文書に関する作業を継続すること。
- (2) WRC-23 議題 1.3 の責任グループとして、合意したパラメータによっては技術的検討が重複する可能性の議論も含め、準備作業を継続すること。
- (3) 決議第 731 に基づき行われている研究作業に関し、WP 3J、3K、3M、7C、7D への対応方法を検討すること。

### 5.5 WG 5 (新技術)

- (1) CAV に関する ITU-R 新報告草案 M. [CAV] の作業文書の作成を継続すること。
- (2) ITS に関する ITU-R 勧告 M. 2121 及び報告 M. 2444 の改訂草案に向けての作業文書

の作成を継続すること。

#### **5.6 Ad Hoc WG 5A/5C (WRC-23 議題 9.1 c)**

- (1) CPM テキストに関する寄与文書を検討すること。
- (2) CPM テキスト案を完成させること。
- (3) (時間があれば) 寄与文書に基づき ITU-R 報告又は勧告の作成を完了すること。

## 6 次回会合のスケジュール

次回（第 27 回）WP 5A 会合は、2022 年 5 月 23 日（月）～6 月 3 日（金）、スイス（ジュネーブ）で開催される予定。

表 2 日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG 2	[ 450 ]	Proposed modification to the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [RSTT_FRQ] - Harmonization of frequency bands for railway radiocommunication systems between train and trackside	次回会合へ持ち越され、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/ 160 Rev. 1
WG 4	[ 449 ]	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R M.1824-1 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the mobile service for use in sharing studies	勧告改訂案への格上に合意し、SG 5に上程することとした。	5A/TEMP/ 155 Rev. 1
WG 4	[ 451 ]	Proposal to preliminary draft new Report ITU-R M. [100-GHZ. RSTT. EESS. COEXIST] - Coexistence between high-speed railway radiocommunication system between train and trackside operating in the frequency bands 92-94 GHz, 94.1-100 GHz and 102-109.5 GHz, and radio astronomy service and Earth exploration- satellite service (EESS) (active) and EESS (passive) services	新報告案への格上に合意し、SG 5に上程することとした。	5A/TEMP/ 156 Rev. 1
WG 4	[ 452 ]	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [252-296 GHZ. LMS. FS. COEXIST] - Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252-296 GHz	次回会合へ持ち越され、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/ 153
WG 5	[ 453 ]	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [CAV]	作業文書に反映され、次回会合で継続検討されることになった。議長報告に添付された。	5A/TEMP/ 171 Rev. 1



WG 5	[ 454 ]	Proposed modification to working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2417-0 – Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275–450 GHz	次回会合へ持ち越され、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/162 Rev. 1
------	---------	--	----------------------------	--------------------

表 3 WP 5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	題目	担当 WG	処理
[ 195 ]	Report of the WG 5A-4 activities (Interference and sharing)	WG 5A-4	議長報告 Annex 3 に 添付
[ 194 ]	Meeting Report of Working Group 5A- 5 - New technologies	WG 5A-5	議長報告 Annex 3 に 添付
[ 193 ]	Report on activities of Working Group 5A-2 - Systems and standards - Annex 3 to Working Party 5A Chairman's Report	WG 5A-2	議長報告 Annex 3 に 添付
[ 192 ]	Report from Working Group 5A-1 activities	WG 5A-1	議長報告 Annex 3 に 添付
[ 191 ]	Work plan/report for WRC-23 agenda item 9.1, topic c) - Study the use of International Mobile Telecommunication systems for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed service on a primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	Ad Hoc WG 5A/5C	議長報告に 添付
[ 190 ]	Ad Hoc Working Group 5A/5C meeting Report - WRC-23 agenda item 9.1, topic c)	Ad Hoc WG 5A/5C	議長報告 Annex 3 に 添付
[ 189 ]	Working Party 5A Management	WP 5A	議長報告に 添付
[ 188 ]	List of Annexes for the Chairman's Report of the twenty-sixth meeting of Working Party 5A (Document 5A/491)	WP 5A	議長報告に 添付
[ 187 ] (Rev. 1)	Liaison statement to ITU-R Working Parties 5C, 5D and ITU-T Study Group 15 - Working document towards a preliminary draft new Report ITU- R M. [UCS] on Utility Communication Systems	WG 5A-2	ITU-R WP 5C、5D 及び ITU-T SG 15 に送付
[ 186 ] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [UCS] - Utility Communication Systems	WG 5A-2	議長報告に 添付

[ 185 ]	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1732-2 – Characteristics of systems operating in the amateur and amateur-satellite services for use in sharing studies	WG 5A-1	議長報告に添付
[ 184 ] (Rev. 1)	Working document towards a draft report for sharing and compatibility studies in compliance with Resolution 246 (WRC-19) in relation with WRC-23 agenda item 1.3	WG 5A-4	議長報告に添付
[ 183 ] (Rev. 1)	Draft Terms of Reference for a correspondence group to progress the work on WRC-23 agenda item 1.3	WG 5A-4	複数意見の対立により不合意
[ 182 ] (Rev. 1)	Work plan / Report for WRC-23 agenda item 1.3	WG 5A-4	議長報告に添付
[ 181 ]	Meeting Report of SWG5A-4A on WRC-23 agenda item 1.3	SWG 5A-4A WRC-23 AI 1.3	議長報告 Annex 3 に添付
[ 180 ] (Rev. 1)	Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-23 agenda item 1.3	WG 5A-4	議長報告に添付
[ 179 ] (Rev. 1)	Reply liaison statement to Working Party 4A – Parameters to be used by Working Party 4A for the studies related to the potential update of RR No. 21.16.6	WG 5A-4	WP 4A に送付
[ 178 ] (Rev. 1)	Liaison statement to Working Party 7C – Request for information for use in impact studies for EESS (passive) operations in the 6 425–7 250 MHz range under RR No. 5.458	WG 5A-4	WP 7C に送付
[ 177 ]	Draft work plan/Report for WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WP 5A-1	議長報告に添付
[ 176 ]	Preliminary draft new Report ITU-R M. [AMATEUR CHARACTERISTICS] – [Existing proposal] Amateur and amateur-satellite services characteristics and usage in the 1 240–1 300 MHz frequency band – [New proposal] Service characteristics, studies [and guidelines] regarding the protection of the primary radionavigation-satellite service (space to-earth) by the secondary	WP 5A-1	議長報告に添付

	Amateur and Amateur-satellite services in the frequency band 1 240-1 300 MHz		
[ 175 ]	Working document towards preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [AS GUIDANCE] - Guidance on the implementation of technical and operational measures for the use of the frequency band 1 240-1 300 MHz by the Amateur and Amateur-satellite service in order to protect the RNSS	WP 5A-1	議長報告に添付
[ 174 ]	Liaison statement to Working Party 4C - Information for studies on WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WP 5A-1	WP 4C に送付
[ 173 ] (Rev. 1)	Liaison statement to Working Party 4A - WRC-23 agenda item 1.15 - Sharing and compatibility studies between the proposed operation of earth stations on vessels in the 12.75-13.25 GHz frequency band and mobile services operating in the 12.95-13.25 GHz frequency band	WG 5A-4	WP 4A に送付
[ 172 ] (Rev. 1)	Work plans for the work items on Intelligent Transport Systems	WG 5A-5	議長報告に添付
[ 171 ] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [CAV] - Connected Automated Vehicles (CAV)	WG 5A-5	議長報告に添付
[ 170 ] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-5 - Characteristics of broadband radio local area networks	WG 5A-2	議長報告に添付
[ 169 ]	Working Group 5A-3 Meeting Report - Public Protection and Disaster Relief	WG 5A-3	議長報告 Annex 3 に添付
[ 168 ] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M. 2479-0 - The use of land mobile systems, excluding IMT, for machine-type communications	WG 5A-5	議長報告に添付
[ 167 ] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M. 1801-2 -	WG 5A-2	議長報告に添付

	Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service		
[ 166 ] (Rev. 1)	Work plan for completion of the work on RSTT under Resolution 240 (WRC-19)	WP 5A-2	議長報告 Annex 3 に 添付
[ 165 ]	Working document towards a preliminary draft revision of Resolution ITU-R 55-3 - ITU-R studies of disaster prediction, detection, mitigation and relief	WG 5A-3	議長報告に 添付
[ 164 ]	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M. 2444-0 - Examples of frequency/channel arrangements for Intelligent Transport Systems deployments under the mobile service	WG 5A-5	議長報告に 添付
[163] (Rev. 1)	Elements for a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [LMS. SPEC. NEED. ABOVE. 275 GHz] - Spectrum needs for land-mobile service applications in the frequency above 275 GHz	WG 5A-5	議長報告に 添付
[162] (Rev. 1)	Preliminary draft revision of Report ITU-R M. 2417-0 - Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275-450 GHz	WG 5A-5	議長報告に 添付
[161]	Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WG 5A-1	議長報告に 添付
[160] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [RSTT_FRQ] - Harmonization of spectrum for use by Railway Radiocommunication Systems between Train and Trackside (RSTT) within the frequency bands allocated to the mobile service	WP 5A-2	議長報告に 添付
[159] (Rev. 1)	Draft liaison statement to APT, ASMG, ATU, CEPT, CITELE and RCC - Information of the progress on the work of RSTT	WP 5A-2	イランの反 対により不 合意

[158] (Rev. 1)	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M. 2442-0 – Current and future usage of railway radiocommunication systems between train and trackside	WP 5A-2	議長報告に添付
[157]	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [LMS. CONDITIONS>275GHz] – Assessment of mitigation techniques and specific conditions to be applied to the land mobile service applications in the frequency bands 296-306 GHz, 313-318 GHz and 333-356 GHz, to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) applications in accordance with RR No. 5.564A	WG 5A-4	議長報告に添付
[156] (Rev. 1)	Draft new Report ITU-R M. [100-GHz. RSTT. EESS. COEXIST] – Coexistence between high-speed railway radiocommunication system between train and trackside operating in the frequency bands 92-94 GHz, 94.1-100 GHz and 102-109.5 GHz, and radio astronomy service and Earth exploration-satellite service (EESS) (active) and EESS (passive) services	WG 5A-4	WP 5A プレナリで承認。SG 5に上程
[155] (Rev. 1)	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1824-1 – System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the mobile service for use in sharing studies	WG 5A-4	WP 5A プレナリで承認。SG 5に上程
[154]	Draft liaison statement to Task Group 6/1 – WRC-23 agenda item 1.5	WG 5A-4	TG 6/1に送付
[153]	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [252-296 GHz. LMS. FS. COEXIST] – Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252-296 GHz	WG 5A-4	議長報告に添付

[152] (Rev. 1)	Liaison statement to the Inter-Sector Coordination Task Force (ISC-TF) – Proposed suppression of the Compendium of ITU's work on Emergency Telecommunications	WG 5A-3	ISC-TF に送付
[151] (Rev. 1)	Working document toward a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2377-1 – Radiocommunication objectives and requirements for Public Protection and Disaster Relief	WG 5A-3	議長報告に添付
[150] (Rev. 1)	Liaison statement to relevant parties – Proposed suppression of the Compendium of ITU's work on Emergency Telecommunications	WG 5A-3	関連団体に送付

## ITU-R SG 5 WP 5A 第26回会合 日本代表団

(順不同；敬称略)

	氏名	所属
団長	丸橋 弘人	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
	谷田 栞	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	横出 智貴	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	内田 寛武	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	小川 博世	(国研) 情報通信研究機構
	小山 敏	(一社) 電波産業会
	横山 隆裕	(一社) 電波産業会
	山本 勝美	(一社) 日本アマチュア無線連盟
	中村 一城	(公財) 鉄道総合技術研究所
	齋藤 進	日本放送協会
	津持 純	日本放送協会
	岩谷 純一	日本電信電話(株)
	大槻 信也	日本電信電話(株)
	新 博行	(株) NTT ドコモ
	坂田 研太郎	ソフトバンク(株)
	吉野 仁	ソフトバンク(株)
	酒井原 邦彦	パナソニック(株) コネクティッドソリューションズ社
	川本 真紀夫	三菱電機(株)
	山崎 高日子	三菱電機(株)
	三留 隆宏	スカパーJSAT(株)
	片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.
	地引 史子	ワシントンコア L.L.C.